

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	地域高規格道路 一般国道246号線 厚木秦野道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	厚木区間 自：神奈川県厚木市中依知 至：神奈川県厚木市飯山 伊勢原区間 自：神奈川県伊勢原市西富岡 至：神奈川県伊勢原市善波	延長	厚木区間：3.6km 伊勢原区間：4.8km		
事業概要：一般国道246号は、東京都千代田区から神奈川県内の内陸部を横断し、静岡県沼津市に至る延長約120kmの主要幹線道路です。厚木市・伊勢原市内の国道246号は、幹線道路合流による交通集中や交差点密度の高さによる速度低下により、慢性的な渋滞が生じている。厚木秦野道路は、国道246号の交通混雑緩和を図るとともに、第一東海自動車道（東名高速道路）・第二東海自動車道、さがみ縦貫道路を相互に連絡し、広域的ネットワークを形成し、且つ、沿線の関連開発計画の支援、沿線都市の地域活性化を目的とした延長29.1kmのバイパス事業である。					
厚木区間：H13年度事業化		H8年度都市計画決定		H11年度用地着手	
伊勢原区間：H10年度事業化		H13年度工事着手			
全体事業費		586億円		事業進捗率 約28%	
計画交通量		厚木区間：366百台/日		伊勢原区間：260百台/日	
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 3.6 (残事業) 5.1	(残事業)/(事業全体) 338/480億円 事業費：292/434億円 維持管理費：46/46億円	(残事業)/(事業全体) 1,729億円/1,729億円 走行時間短縮便益：1,488/1,488億円 走行経費減少便益：174/174億円 交通事故減少便益：68/68億円	平成19年度	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保、物流効率化の支援（横浜港、羽田空港へのアクセス向上が見込まれる） 緊急時の代替路の確保（第二東海自動車道の代替路を形成する） 					
他12項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見					
周辺市町村より厚木秦野道路事業中区間の早期整備要望。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
第二東海自動車道、さがみ縦貫道路に施行命令が出されており、地域の発展が期待されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
第二東海自動車道、さがみ縦貫道路との連絡施設を中心に、用地買収を推進（用地買収率28%）。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
第二東海自動車道やさがみ縦貫道路との同時供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等					
コスト縮減に資する調達方法の採用や新技術の積極的な活用、および道路構造の見直しによる更なるコスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。